



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

IUSOH国際姉妹校連合

カナダ・トロント代表者会議開く

七月二日から五日までカナダ・オンタリオ州トロントで第八十六回IADR(国際歯科研究会)総会が開催された。

本学では、二年毎にIADRの会期中に、本学が主導するIUSOH(口腔保健のための国際姉妹校連合)の代表者会議を招集してきた。今年は会期中の七月三日、IUSOH代表者会議とディナーバンケットが行われた。

午後六時からシエラロンセンターで開催された会議には、タイ・マヒドン大学、オーストラリア・アデレード大学、フランス・パリ第7大学、中国・四川大學および日本歯科大学からのIADR参加者が出席した。会議はセクレタリーの影山幾男教授の司会で進行し、IUSOHの幹事報告ののち、



IUSOHセクレタリー影山教授の幹事報告



ディナーバンケットで談笑する研究者たち

活動拡大につき協議され、その方策として「IUSOHニューズレター」への寄稿が要請された。また今回は特に、ブリティッシュコロンビア大学と本学との長年にわたる交流状況や、交換学生に対する研修プログラムなどを紹介してほしい、との要望が寄せられた。パリ大学、マヒドン大学、

四川大學でも、交換学生のシステムを是非取り入れたいと希望していた。午後七時より日本歯科大学主催のIUSOHディナーバンケットが始まった。会議出席者に加え、カナダ・ブリティッシュコロンビア大学、イスラエル・ヘブライ大学、ニュージーランド・オタゴ大学の先生方が参加した。

まず本学のスライド紹介があり、中原理事長・学長からのメッセージが伝えられた。つづいて、住友雅人生命歯学部長と小倉英夫新潟生命歯学部学長が新たに歯学部長に就任したと紹介された。ディナーには約七十名が参加し、各テーブルでは、研究者同士の意見の交換や交流の輪が広がり、二年後スペイン・バルセロナでの再会を約し散会した。(影山幾男記)



新潟短大学長に下岡教授(新潟・小児歯科)

本学新潟短期大学の新学長に、新潟生命歯学部小児歯科学講座の下岡正八教授が、八月一日付で就任した。

下岡学長は、昭和十五年八月生、四十年三月本学卒業(第五十四回卒)、四十七年三月大学院歯学研究科を修了し、五十二年六月新潟歯学部小児歯科学講座教授に就任。新潟歯学部附属病院院長、日本小児歯科学会理事長等を歴任。二十年一月には、平成十九年度日本歯科医学学会会長賞を受賞した。専攻は小児歯科学。

前期入試/東京2月1日・新潟2月5日
後期入試/東京2月28日・新潟3月6日
日本歯科大学生命歯学部(東京)と新潟生命歯学部との入学試験は、両学部とも、センター試験利用入試と一般選抜前期ならびに後期入試を実施する。一般選抜入試の試験科目は、英語・数学・理科の三科目と面接試験。また平成二十一年三月六日に実施される新潟生

試験区分	東京短期大学 (歯科技工学科・歯科衛生学科)		新潟短期大学 (歯科衛生学科)	
	一般選抜A入学試験	一般選抜B入学試験	一般選抜入学試験	
募集人員	約15名	約30名	約20名	
試験日	21年1月25日(日)	21年3月14日(土)	21年1月10日(土)	
合格発表	1月27日(火)	3月16日(月)	1月14日(水)	
手続期限	2月13日(金)	3月26日(木)	1月21日(水)	
出願期間	郵送: 1月5日(月)~1月16日(金) 窓口: 1月20日(火)・21日(水)	郵送: 2月23日(月)~3月6日(金) 窓口: 3月10日(火)・11日(水)	郵送: 20年12月24日(水)~21年1月8日(木) 窓口: 21年1月7日(水)・1月8日(木)	
出願場所	日本歯科大学東京短期大学 ☎03-3265-8815(代) 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16		日本歯科大学新潟短期大学 ☎025-267-1500(代) 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8	
選考方法	学力試験 面接試験	小論文 面接試験	学力試験 面接試験	

平成21年度日本歯科大学入試要項 (生命歯学部・新潟生命歯学部)

試験区分	大学入試センター試験利用入学試験		一般選抜前期入学試験		一般選抜後期入学試験	
	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部
募集人員	約28名	約25名	約75名	約30名	約15名	約11名
試験日	面接試験: 21年2月6日(金)	面接試験: 21年2月9日(月)	学力試験、面接試験とも 21年2月1日(日)	学力試験、面接試験とも 21年2月5日(木)	学力試験、面接試験とも 21年2月28日(土)	学力試験、面接試験とも 21年3月6日(金)
合格発表	2月8日(日) 生命歯学部(東京)に掲示	2月10日(火) 生命歯学部(東京)に掲示	2月4日(水) 生命歯学部(東京)に掲示	2月8日(日) 生命歯学部(東京)に掲示	3月2日(月) 生命歯学部(東京)に掲示	3月8日(日) 新潟生命歯学部に掲示
手続期限	2月16日(月)	2月18日(水)	2月12日(木)	2月16日(月)	3月9日(月)	3月13日(金)
出願期間	郵送: 1月13日(火)~1月21日(水) ※1月21日消印有効 窓口: 1月21日(水)・1月22日(木)		郵送: 1月6日(火)~1月13日(火) ※1月13日消印有効 窓口: 1月19日(月)・1月20日(火)		郵送: 2月19日(木)~2月23日(月) ※2月23日消印有効 窓口: 2月24日(火)・2月25日(水)	郵送・窓口とも: 2月26日(木)~3月4日(水)
出願場所	日本歯科大学生命歯学部 (東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎ 03-3261-8311		新潟生命歯学部 〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 ☎ 025-267-1500 ※試験会場: 新潟・東京会場のいずれか選択可			

第21回 姉妹校交換学生



新潟生命歯学部でのウェルカムパーティ



ウイスラー観光でカナダの大自然に触れた



生命歯学部本館前で記念撮影、パチリ



UBCでの学部長主催パーティ(左からShuler歯学部長、Lowe教授、3人おいてFastlicht准教授、右端Shah教授)



カナダ・バンクーバー郊外の港にてニコリ

本学の交換学生制度は、春に両学部の五年生から選抜した学生グループが、姉妹校カナダ・ブリティッシュコロンビア大学(UBC)とアメリカ・ワシントン州立大学(UW)を訪問し、夏にUBCからの訪問を受け入れ、相互に研修と親睦を深めるといふ独自の教育プログラムである。

国際交流の啓発を目的として一九八六年(昭和六十一)に始まり、今回で二十一年目を数え、同行教員を含めた本学からの派遣と受け入れの総数は、それぞれ一四二名と一五八名となった。

本学の一行七名は、三月八日に成田を出発し、シアトル・タコマ空港に到着。翌日、矯正歯科医 Zahal Davis 先生のご好意でシアトル郊外の診療室を見学。十日には UW で朝七時四十五分から夕方六時まで研修を受けた。

まず、歯学部長 Martin Somerman 教授を表敬訪問、ご専門の歯周病学の研究や大学の教育の方針等について説明を受けた。次に学生診療室と実習室で教育システムについて学んだ後、歯科法医学のバイトマーク実習を受講。UW の学生との昼食会の後、小児歯科、矯正歯科、ならびに歯周病科で各責任者から大学院

生たちへの出迎えを受け、その晩は歓迎会となった。同行教員には、UBC の歯科矯正学講座主任 Alan Lowe 教授のご好意で、矯正歯科治療の種類の異なるに関する講演の機会が与えられ、Charles Shuler 歯学部長と Edwin Yen 歯学部長にも参加して、前学部長にも参加していただき学術交流を試みた。また滞在中、Lowe 教

授から睡眠時無呼吸に関する臨床的研究について、Virginia Dewatt 教授から唇顎口蓋裂の胎生期における人種差に関する基礎的研究について、Fastlicht 准教授からは独自のコンピュータ試験システムについて、それぞれ直接に感謝している。

七月二十八日、待ちに待った UBC 学生七名を成田空港で出迎え、翌日の附属病院での歓迎セレモニーで東京のプログラムが始まった。例年通り、夜は花火を楽しみ、ふるさと村や新潟祭を存分に堪能。万代橋の上で新潟

甚句を踊り、古町モールの白山神社まで四時間に渡って神輿を担ぐ体験をした。最後に花火大会を観ながら夕食をとり、日本の文化に深く親しむ貴重な経験となったとの感想が述べられた。全員に記念の浴衣が贈られ、十一日にスーツケースからあふれるお土産と多くの思い出を胸に、成田空港から帰国した。

今回も双方の学生に有意義なものとなったが、近年、本学学生の英語力は著しく向上し、今後はより学術的な交流が可能となる段階への発展が期待されるように感じた。最後になりましたが、貴重な機会を与えて下さった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(同行教員・新井一仁)



UWの見学(中央白衣・歯科矯正学King教授)



みこし前に全員集合!新潟祭で全員ハッピー姿



浴衣姿で新潟甚句や佐渡おけさを踊る民謡流し



UBCに留学中の日本人歯科医師との昼食会



河口湖をのぞむ富士急ハイランド前でポーズ

7名派遣・7名受け入れ

プログラムの特徴を中心に説明を受けた。最後に医学図書館を見学して、副学部長 James Steiner 教授から日米の教育方法の違いについて話し合う機会が得られた。

十二日、一行は空路バングラダシュに移動。空港では教育プログラム担当の Ravindra Shah 教授はじめ歯科矯正学の Sandra Fastlicht 准教授や多くの学生たちの出迎えを受けた。

同行教員には、UBC の歯科矯正学講座主任 Alan Lowe 教授のご好意で、矯正歯科治療の種類の異なるに関する講演の機会が与えられ、Charles Shuler 歯学部長と Edwin Yen 歯学部長にも参加して、前学部長にも参加していただき学術交流を試みた。また滞在中、Lowe 教

授から睡眠時無呼吸に関する臨床的研究について、Virginia Dewatt 教授から唇顎口蓋裂の胎生期における人種差に関する基礎的研究について、Fastlicht 准教授からは独自のコンピュータ試験システムについて、それぞれ直接に感謝している。

七月二十八日、待ちに待った UBC 学生七名を成田空港で出迎え、翌日の附属病院での歓迎セレモニーで東京のプログラムが始まった。例年通り、夜は花火を楽しみ、ふるさと村や新潟祭を存分に堪能。万代橋の上で新潟

甚句を踊り、古町モールの白山神社まで四時間に渡って神輿を担ぐ体験をした。最後に花火大会を観ながら夕食をとり、日本の文化に深く親しむ貴重な経験となったとの感想が述べられた。全員に記念の浴衣が贈られ、十一日にスーツケースからあふれるお土産と多くの思い出を胸に、成田空港から帰国した。

今回も双方の学生に有意義なものとなったが、近年、本学学生の英語力は著しく向上し、今後はより学術的な交流が可能となる段階への発展が期待されるように感じた。最後になりましたが、貴重な機会を与えて下さった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(同行教員・新井一仁)

- 新潟生命歯学部
- 荒川いつか
 - 池田雄介
 - 風間未来
 - 三浦 未
 - ブリティッシュコロンビア大学)
 - Ms. Bora Moon
 - Ms. Hedy Lam
 - Ms. Samantha Chong
 - Ms. Tiffany Cheung
 - Ms. Wendy Ching
 - Mr. Kamran Rahimkhani
 - Mr. Sung Bin Cha

(同行教員)

新井一仁准教授(生命歯学部歯科矯正学講座)

辞令

- 歯学博士 森田 修己 名誉教授の称号を授与する
- 教授 下岡 正八
- 歯学博士 新潟短期大学学長に任命する
- 新潟生命歯学部小児歯科学講座教授に任命する
- 教授 佐野 公人
- 歯学博士 新潟生命歯学部歯科麻酔学講座に配置換を命ずる(新潟病院歯科麻酔・全身管理科)
- 准教授 大橋 誠
- 博士(歯学) 新潟病院歯科麻酔・全身管理科科長に任命する
- 歯科鎮静リラックス外来医長に任命する
- 教授 宇野 清博
- 歯学博士 新潟病院副院長に任命する(総合診療科)
- 教授 山口 晃
- 歯学博士 新潟病院副院長に任命する(口腔外科)

- 二〇〇八年度姉妹校交換学生は次の通り。(日本歯科大学)
- 生命歯学部 海老澤俊一
 - 田中 昌榮
 - 深代 真以

交換学生

平成二十年八月一日

本学